

学校教育目標	目指す子どもの姿「元気いっぱい やさしさいっぱい 何でもチャレンジ 南っ子！」 ～「ふるさと本牧」を担う子どもの育成～ 知 ○問題解決の力を高め、自ら問題を解決しようとする、実践力を育てます。 徳 ○思いやりの心を高め、相手の立場を尊重し協力できる態度を育てます。 体 ○活動に必要な力を高め、知識・技能の基本を習得し、健康な体力づくりができる力を育てます。 公 ○自分たちのまち、そして横浜を愛し、地域やものを大切にできる態度を育てます。 開 ○多様な人たちの中でコミュニケーションの力を育み、社会の変化に対応する力を育てます。					
	学校概要	創立 54 周年	学校長 中村 宏	副校長 杉山 ももこ	2 学期制	一般学級： 9 個別支援学級： 5
児童生徒数： 248 人		主な関係校： 大鳥中学校・本牧中学校・間門小学校・本牧小学校・大鳥小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	大鳥・本牧中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> 主體的に社会参画する姿勢 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢 	大鳥中学校 本牧中学校 間門小学校 本牧小学校 大鳥小学校 本牧南小学校	「ふるさと本牧」を担う子どもの育成 ～子ども・家庭・地域・教職員の連携の充実を通して～ ○本牧のまちと関わりながら学び、まちを大切にできる子ども ○多様性を尊重し、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども ○学習や生活のよい習慣を身に付け、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども ■2中4小合同 学校運営協議会の実施 ■2中4小合同 授業研究会の実施 ■各校による「あいさつ運動」の実施 ■各校による社会的スキル育成(「Y-Pアセスメント」活用) ■2中4小で「いじめ」についての認識及び対応の共有化

中期取組目標	3年間を通して、以下の5つの目標達成に向け、教育活動に取り組んでいきます。 ○質の高い学びの実現に向けて、「もっと〇〇したい」と本気になって学ぶ子を育てます。 ○自尊感情を高めるとともに、人権意識を育み、互いを尊重し合える子を育てます。 ○「食事・睡眠・運動」の大切さを知り、基本的な生活習慣を身に付け、健康づくりに自ら取り組む子を育てます。 ○地域の歴史や伝統文化を学ぶとともに地域の方々との交流を深め、「ふるさと本牧」を愛する気持ちを育てます。 ○ESDの理念のもと、多様性を尊重し、地域「ふるさと本牧」及び社会に貢献しようとする心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①40分授業の充実を図り、質の高い学びの実現を目指す。 ②重点研を通して、「もっと〇〇したい」と本気で学ぶ子どもの育成を目指す。学習意欲を高め、学力の伸び率向上につなげ、学力の定着を図っていく。 ③算数少数指導、漢字検定等、児童の基礎的基本的な学力の定着を図る。
担当 教務部 研究部 学力・評価委員会	
徳 豊かな心	①人権教育実践推進校として、SDGsを意識づけながら人権教育を推進する。「シトリンプロジェクト(シラスリボンプロジェクト+りんごプロジェクト)」、年2回の人権週間の設定、人権を意識した「まんまる学級目標」の設定、本牧学園2中4小でのピンクシャツデー等、児童の自尊感情を高めるための取組を行い、豊かな心を育む。 ②幼保小の連携をさらに深め、やさしさや思いやりの心を育む。
担当 人権・児童指導委員会	
体 健康教育	①体育科の授業の充実、「南っ子健康アップ大作戦」の取組を通して、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基盤を育むとともに、体力の向上を図り、けがの防止にも繋げていく。 ②年間計画に基づいた歯科指導をベースにして、全校参加の学校保健委員会や日々の保健指導などを通して、基本的な生活習慣の定着を図る。 ③食育の充実を図り、「食事の重要性」「伝統的な食文化」「心身の健康」について実感を伴った理解に繋げる。
担当 健康・安全・食育委員会、体育部	
公開 ESD/SDGs	①地域(ふるさと本牧)の「人・もの・こと」と積極的にかわり、ESD推進校として、SDGsの17の目標を意識しながら教育活動をを進めていく。 ②重点研(生活科・総合的な学習の時間)及び情報発信基地としての学校図書館を軸にして、子どもたちにSDGsを意識付け、ESDを推進する。
担当 研究部	
特別支援教育	①特別支援Cooを中心に、校内の支援体制を整えるとともに、個別の指導計画・個別の教育支援計画のもとに、保護者とも連携し、特別支援教育の充実を図る。 ②個別支援学級と一般級との情報共有を密にし、日頃から交流時の様子を情報交換して、児童が安心して学習できる支援や環境づくりを推進する。
担当 特別支援教育委員会	
児童指導	①児童一人ひとりが安全で安心できる学校生活を送れるようにするため、「学校生活のきまり」をもとに、全教職員で共通理解を図り、学校全体でどの児童にも同じスタンスで指導・支援を行う。 ②「みなみっこマナー」の定着を図る。 ③YPアセスメントを活用し、子どもの社会的スキルの育成状況をつかみ、年齢相応の社会的スキルを身に付けるための支援を行う。
担当 児童指導委員会	
いじめへの対応	①教職員がいじめに対するアンテナを高くし、授業や日常生活の中での児童の様子を丁寧に見取るとともに、定期的に児童へのアンケートを実施し、迅速で適切な対応に努める。 ②専任を中心として、いじめ防止対策委員会の実施、教職員間での情報共有の徹底を図り、いじめの未然防止と再発防止に努める。
担当 児童指導委員会	
自分づくり(キャリア教育)	①児童一人ひとりが、働くことの意義や尊さを理解し、将来に夢や希望、目標をもてるようにするため、出前授業や出張授業、校外学習を充実させ、まちの人とともに活動をする体験的な学習に積極的に取り組む。
担当 教務部	
人材育成・組織運営(働き方)	①主幹教諭を軸とした組織を構築し、学校運営の改善に努める。 ②職員間のコミュニケーションを円滑にし、風通しのよい職場環境を整える。 ③メンターチーム373を中心に、経験年数の少ない教員の授業力・児童指導力の向上を図る。 ④よりよい働き方を目指し、業務改善を行う。
担当 メンター373 教務部	
安全教育	①防災に対する意識を高めるとともに、避難の仕方・家族の約束事等、様々な災害時における適切な避難についての指導を行う。 ②訓練を通して、一人ひとりが考え、自分の命を自分で守る行動をとることができるようにする。
担当 健康・安全・食育委員会	